

令和4年度 学校だより

# かけはし

匝瑳市立八日市場小学校

12月号ー2 No15

<https://sosa-yokaichiba-es.net/index.html>

※HPIには、かけはしカラー版を掲載中です



## 新しい年 令和5年 !

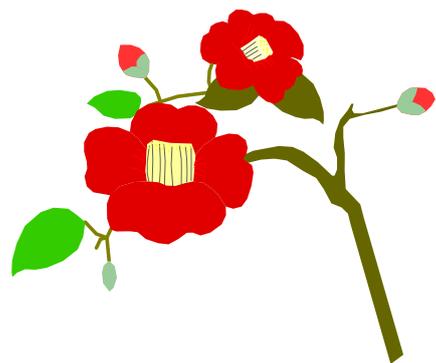
今年も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、いろいろな制約の中でしたが、感染対策を工夫しながら、様々な教育活動を実施してきました。

後期は、学校全体では「マラソン大会」「書き初め練習」「授業参観」「リサイクル活動」などを実施しました。各学年においても、「校外学習」「地域の方々との交流会」「外部講師を招いた授業」などを実施してきました。日頃の授業の充実に向けても「校内での勉強会」や「相互授業参観」などに取り組んできました。

日々の授業を含む学校教育全体で改めて考えさせられたことがあります。それは、子どもたちのたくましく学んでいこうとする力の素晴らしさです。国語や算数などでは、新しいことを学んでいく過程で、すぐに理解できずにわかるようになるために取り組む子どもたちの姿がありました。音楽や体育などでは、うまく演奏や技ができず、何度も繰り返し練習する姿が見られました。子どもたちは、その努力の過程を通して「わかる・できる」喜びを味わっています。

私たち大人は、子どもたちが知識や技能を身につけられるようにしていくとともに、子どもたち自身が自分の力で力強く学びを進めていこうとする力もつけていかななくてはなりません。そのためには、「見守る」「待つ」姿勢も大切にしていかななくてはならないと思います。もちろん、見守る中で必要に応じて適切な支援を行っていかなくてはなりません。

家庭と学校が情報を共有することで、適切な「見守り」と「支援」ができます。令和5年も、子どもたちをよりよく伸ばしていくことができるように、令和4年と同様に、各家庭のご協力をよろしく願います。よい年をお迎えください。



## 笑顔いっぱいの子ども

先日、2年生で行っていた道徳の授業に参加しました。クラスみんなで練習したのに、縄跳び大会で勝てなかったということを題材にした授業でした。私が「勝ちたかった」と意見を言ったところで、勝つことができなかったけど「クラスの目標に向かってがんばった」「みんな一人一人が一生懸命がんばった」「次がんばればいいよ」などの様々な意見がでて、子どもたちは学習を深めることができました。

授業の終わりに、ある子どもが「どうして校長先生はそう思うんですか」と発言する子がいました。ほとんどの子が勝つことが大切ではないという意見の中、私の意見に寄り添ってくれたと感じる場面でした。自分の考えとちがう考えも大切にしようとしている姿が見られ、私はほっこりとした気持ちになりました。私はすがすがしい気持ちで新年を迎えることができます。ありがとう、子どもたち。